

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 教員採用試験一次選考終了！

○2025 年度教員採用試験（2026 年度採用）一次選考合格者速報

本年度の教員採用試験において、外国語学部日本語学科・英米語学科の 4 年生 12 人と卒業生 8 人の計 20 人が一次選考に合格しました。また、3 年生を対象とした「前倒し選考」では 12 人が選考通過者となりました。なお、選考通過者は、来年度の本試験における一部が免除されます。

【4 年生・卒業生の合格状況】

受験先	校種・ 教科等	受験者数	現役生 合格者数	卒業生 合格者数	一次 合格者数計
千葉県	中高・国語	5	2	0	2
	中高・英語	2	1	1	2
東京都	中高・国語	6	2	1	3
	中高・英語	11	7	4	11
愛知県	中・英語	1		1	1
横浜市	中高・英語	1		1	1
合 計		26	12	8	20

【3 年生前倒し選考状況】

受験先	校種・ 教科等	受験者数	選考 通過者数
千葉県	中高・国語	1	0
	中高・英語	3	3
東京都	中高・国語	3	3
	中高・英語	7	4
茨城県	中・国語	1	1
神奈川県	中・国語	1	1
合 計		16	12

※卒業生合格者数には一次試験免除者も含む

○二次選考突破へ全力チャレンジ！

METTS では 4 年生を対象とする二次選考対策を、一次選考の結果発表を待たずに 7 月 23 日から開始しました。各自治体の選考内容に応じて、個人面接、英語実技、模擬授業等の練習を本番さながらに行い、8 月 24 日の東京都英語実技試験までの 13 日間で延べ 66 時間実施しました。

指導には METTS 職員に加え、個人面接では釧路勉客員教授が豊富な経験に基づいた助言を行い、英語実技では MLACC（多言語コミュニケーションセンター）の Patrizia Hayashi 教授と Tyson Rode 准教授が熱心かつ丁寧な指導を行いました。

教職採用試験合格を目指す学生たちは、春休みの勉強合宿をはじめ教職教養・一般教養ビデオ講座、英語対策講座、論文講座、集団面接・集団討議練習など、多様な講座を経て準備を重ね、二次選考にも万全の体制で臨みました。



「英語実技面接」練習



「英語模擬授業」練習



「個人面談」練習

〈二次選考後の学生の感想から〉

- 後輩へのアドバイスとして、練習は休まず可能な限り参加した方が絶対いいです。
- 対策講座で練習した内容が活かされたと感じる部分が大半だったので、対策講座を受講して良かったです。
- 一次試験・二次試験ともに、たくさんの対策講座を開いてくださった先生方に感謝ですし、一緒に頑張ってくれた仲間たちに感謝したいです。

METTS COMPASS Summer Workshop

8月8日（金）から10日（日）にかけて、明海大学勝浦セミナーハウスにて卒業生教員を対象とした宿泊型研修「METTS COMPASS Summer Workshop」を実施しました。教職1～2年目の若手教員6人が参加し、現場で直面する悩みや課題を語り合うとともに、未来志向の対話を通して実践を見つめ直し、前に進む思いを新たにしました。研修では授業や学級経営の体験を共有し、「うまくいかないのは自分だけではない」と気づくことで、安心感が生まれました。また、組織の一員としての役割を考え、自身の在り方を多面的に見直す機会にもなりました。

藤井大輔センター長、浅田勉教授から「教職のキャリアデザイン」について熱いメッセージが伝えられ、経験や異動を通じて職域を広げ実績を積むこと、将来的に教育管理職を目指す意義が語られました。「教室から学校を動かす立場へ」という視点は参加者の関心を集め、自らの未来を見据える契機となりました。



2025 教職特別プログラム in summer

8月20日（水）、教職に関心のある高校生を対象に、METTS主催「教職特別プログラム」を実施しました。都立墨田川高校、県立千葉女子高校、私立関東第一高校から3人が参加し、教職の魅力や教職課程についての説明を受けた後、生徒指導の演習を体験しました。続いてミニ授業作りに挑戦し、「学食体験」を挟んで国語・英語・道德の教材を用いた約10分の授業を準備・実演しました。それぞれの授業ではグループワークや発表、Q&Aを通じて考えを引き出す工夫が見られ、短時間ながら充実した学びとなりました。また、日本語学科4年の比嘉彩夏さん、3年の今津翔さん、英米語学科3年の大塚翼夢さん、瀬能桜さんがボランティアとして参加し、高校生を支援しました。参加者からは「教員のやりがいや大変さを実感した」「自分なりの授業ができてうれしかった」との声がありました。



朝日大学実践フォーラム

8月16日（土）、朝日大学で「第2回朝日大学教職実践フォーラム」が開催され、本学から藤井大輔センター長をはじめ4人の教授が参加しました。基調提案では岐阜県の学校教育における情報機器活用や生成AIの課題が示され、午後は卒業生教員による実践報告で現場の工夫や課題が共有されました。今回の成果を学生の育成や教職課程の充実に活かしていきます。



教職出前授業

METTSは、千葉女子・国府台・我孫子・君津の各高校と連携し「教員基礎コース」を支援しています。

8月4日（月）の国府台高校「大学教職講座」では浅田勉教授が教職の魅力を講義しました。8月21～25日の我孫子高校「夏季集中講座」では、藤井大輔センター長ら5人の教授が教育原理、人権課題、国際教育、教師の仕事、第二言語習得をテーマに講義や演習を行いました。高校生は真剣に学び、将来の教員像を考える機会となりました。

